令和７年司法試験 合格体験記

令和７年度在学中受験(未修コース)　本田　雄也

この度、令和７年度司法試験に合格しました、未修 20 期の本田雄也と申します。

まずはこの場をお借りしまして、これまでお世話になった岡大ローの先生方、資料室・事務の皆様、実務家の先生方、そして共に切磋琢磨した学生の皆様に、心より感謝申し上げます。この度の合格は、ひとえに皆様からのご支援の賜物であると心得ております。

思い返せば、私は岡大ローでの成績が芳しくなく、未修１年で２科目(刑法・憲法Ⅱ)の単位取得が認められず、未修１年次・２年次とも成績は下から数えた方が早い位置でした。直前に受けた模試でも、合格推定ラインに届くどころか、本年度での合格は厳しいレベルの成績を叩き出してしまい、合格は極めて絶望的でした。

しかしながら、司法試験の直前まで基礎科目・演習科目の徹底的な復習や、過去問の演習を行い、講義やゼミ等で学んだ内容を自分のものにすることで、「どんな問題が出ても何かしら書けるだろう」くらいの自信を得られました。その結果として、司法試験本番もさほど緊張せず、ゆったりと解答することができました。

ロースクール生活というのは、既修在学中を目指すのであれば約１年半、未修在学中であれば約２年半という、司法試験までの短いようで長い期間にわたって、習慣的に学習することが求められるものでしょう。いわば、司法試験に向けたマラソンのようなものだと考えます。司法試験に向けたスケジュールを立て、継続的な学習を心がけ、合格というゴールに向けて長期的に走り続けるという心意気を持ちましょう。

また、司法試験は決して、「合格できればいいな」くらいの気概で合格できるような試験ではありません。「今年の受験で合格してやる」くらいの覚悟は持ちましょう。寧ろ、それなりの覚悟があれば、問題なく合格できるはずです。

最後に、岡大ローは「恩送り」の文化が根付く場所だと心得ています。私も合格者として微力ではございますが、これまで様々な方から受けたご恩を、後進の皆様へ送っていけたらと考えております。

本当にありがとうございました。